

平成26年度

# インクルーシブ教育システム構築 モデル事業報告（染井野小）

1. **A児への取り組みについて**
2. **染井野小での取り組みについて**

# 1. A児への取り組み

## ○取り組み内容

児童の抱えている困難さについて、達成感をもった学校生活を送れるよう合理的配慮を行い、児童の自尊感情を高める。

## ○研究方法・研究組織等

児童が抱えている困難さについて、校長・教頭の指導の下、学級担任・特別支援教育コーディネーター・ことばの教室担当者等が学校支援コーディネーターと協力し、合理的配慮を行う。また、学校支援コーディネーターは、各スクールクラスターと連携を図り、児童の総合的な成長が図られているかを検証する。

## 1. A児への取り組み

# A児の抱える困難さ

①集中しなくてはならない対象から注意が逸れることがある。



②体全体を使った運動があまり得意ではない。

③友だちとコミュニケーションをとることがあまり得意ではない。

④構音に誤りがある。

## 1. A児への取り組み

### 学校支援コーディネーターの活動

- A児の観察及び実態の把握
- 週1日A児の支援
- 年3回チーム支援会議の開催  
会議で話し合われたことをまとめ、校長へ報告
- 合理的配慮について、教材作成などの支援
- 合理的配慮について、保護者へ説明
- 事例（データベース）のまとめに協力

# 1. A児への取り組み

## ①集中しなくてはならない対象から注意が逸れることがある。

<学級担任>

活動は一つずつ

- ・話を聞く時間
  - ・ノートを書く時間
- 一度に二つのことをさせない。

<学級担任>

話を聞く時の約束の徹底

手は膝の上、視線は話す人の方へ。  
「目のビーム、来てますか？」



<学級担任>

話を聞かせる時は、静かな環境で  
手拍子3つで私語をやめるルールの徹底。

<学級担任>

形態の配慮

黒板の前に集めて話を聞かせる。

<学校支援コーディネーター>

集団から遅れずに次の行動に移れるよう声掛け

## 1. A児への取り組み

### ②体全体を使った運動があまり得意ではない。

<学級担任>

体育 準備運動でサーキット  
多種多様な運動に取り組みさせる  
時間の確保。



<学校支援コーディネーター>  
外遊びに誘う。  
仲のよい友達や楽しく取り組める  
遊具に配慮。

<ことばの教室担当者>

ボール投げ、なわとびなどの運動への  
取り組み。

## 1. A児への取り組み

### ③友だちとコミュニケーションをとることがあまり得意ではない。

#### <学級担任>

発表をする時の挙手の形

- ・パー：意見があります
  - ・グー：同じ意見です など
- 自分の考えと比べ、表現

#### <学級担任>

2人組や小グループで話し合う場の設定

一人ずつ話す機会をもたせる。



#### <学級担任>

隣の座席には、コミュニケーションを取りやすい児童を

#### <学級担任>

帰りの会「ありがとうタイム」  
友達に向かって声を掛けられるよう支援

#### <学校支援コーディネーター>

興味関心のある事柄が同じ友達の把握  
そこから会話や遊びが広がるよう配慮

# 1. A児への取り組み

## ④構音に誤りがある。

<ことばの教室担当者>

専門性の向上

- ・研修会への参加
- ・植草学園 加藤先生によるご指導

<ことばの教室担当者>

タブレットを使った指導

録画・振り返り・記録



<ことばの教室担当者>

タブレットを使って

センターや他校とのやり取り

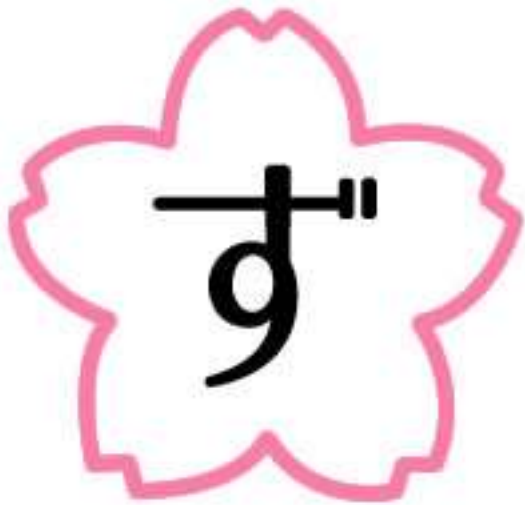
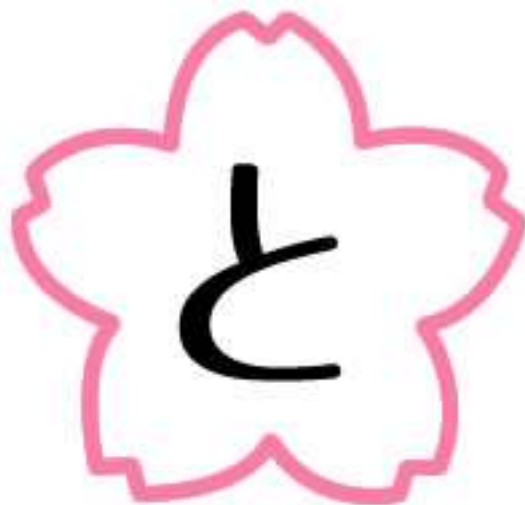
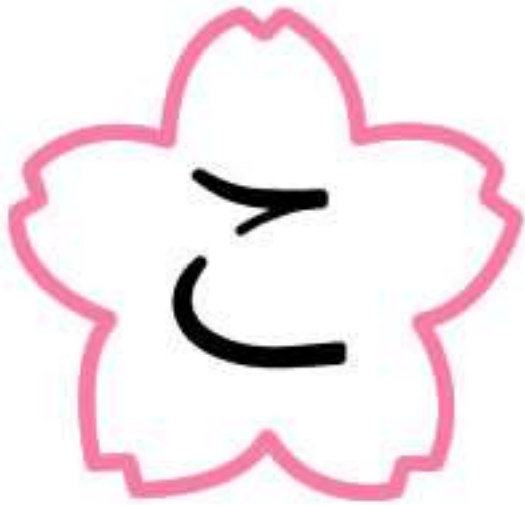
濱野先生や市内の先生方へ指導を仰ぐ。

<情報担当教員・ICT支援員>

構音訓練のためのソフトの開発

夏季休業中の作業





# あさり



# 1. A児への取り組み

## 成果と課題

### (1) 成果

#### 端的な言葉でその都度繰り返す学級担任の指導

- A児の手いたずらは減り、授業に集中。
- 他の児童にとってもよりわかりやすい授業、より生活しやすい環境へ。

#### 学校支援コーディネーターの支援

- A児の交友関係を把握した上での配慮は、コミュニケーションを広げることへ。
- 学校間を行き来、学級担任やことばの教室担当者への橋渡し。より深い連携へ。

#### ことばの教室担当者の指導

- 「ス」音が連続で出せるように。今後も体のバランス等への指導も。

### (2) 課題

- 他の外部機関との関わり

## 2. 染井野小の取り組み

### ○教職員へ向けて

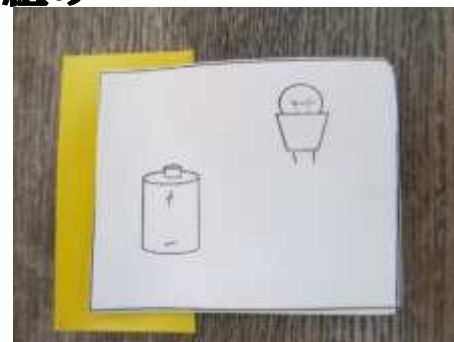
一人のための合理的配慮からみんなの「分かりやすさ」へ  
3年生理科「豆電球に明かりをつけよう」での取り組み



前時の振り返りの掲示物



箱にまとめられた  
実験器具



付箋で貼ったりはがしたりを楽に



板書とプリントが  
同じ形式



iPadで撮影したノートを  
電子黒板で紹介

## 2. 染井野小での取り組み

### iPad活用

#### <ことばの教室で>

- 構音の指導として活用
- 図鑑として活用
- 吃音のある児童へ音読練習
- 漢字練習

#### <通常の学級で>

- 写真やビデオの撮影に活用
- お手本の動きを見せることに活用

## 2. 染井野小での取り組み

### 学校支援コーディネーターによる支援

#### <学級での支援>

ことばの教室へ通っている児童

個別の指導計画を作成している児童へ

#### <他校への訪問>

他校より通級している児童の在籍校へ

保護者へ了解、訪問、報告

## 2. 染井野小での取り組み

### <成果>

**合理的配慮を意識した実践  
分かりやすい授業へ相談、実践**

### <課題>

**校内でデータ報告ができる事例の検討  
指導案上の合理的配慮の明記  
個別の指導計画作成**